

教育科学
数学教育

明治図書

教育科学

数学教育

No.735
2019

1

教育科学／数学教育 1月号

発行所-明治図書出版株式会社
http://www.meijitoshu.co.jp
東京都北区滝野川7-46-1
郵便番号114-0023
振替00160-5-151318番

Printed in Japan

定価 860円

本体 796円

2019
1

Q & A 授業の悩み、解決します！

特集
Q&A

授業の悩み、
解決します！

Contents

単元計画		
単元の導入，どうすれば生徒が食いつく？／仁田勇介		ほか
事前準備		
教材研究，まず何から手をつければいい？／渡邊裕史		ほか
授業の導入		
授業冒頭，どうすれば生徒が集中できる？／田中真也		ほか
学び合い		
全員で議論できる課題，どうつくればいい？／高山琢磨		ほか
学力差への対応		
生徒の実態把握，どうすれば正確にできる？／板橋真紀子		ほか
困った場面の対応		
ねらいから外れた授業展開，どう軌道修正すればいい？／大友正純		ほか
板書		
本時のまとめ，生徒の言葉をどう生かせればいい？／森 茂之		ほか
宿題・提出物		
宿題，どうすれば生徒が意欲的に取り組む？／大森健司		ほか
定期テスト		
「数学的な見方や考え方」，どんな問題でどう評価する？／荻谷康司		ほか

雑誌05443-01



4910054430196
00796

明治図書 05735

A&A

授業の悩み、
解決します！

学力差
への
対応机に突っ伏す生徒、
どう声をかければいい？

Question

「わかるように説明しよう」とか「用語一つ、計算一題でも解けるようにしたい」と考えていますが、生徒は学ぶ意欲をもてず、空回りばかりで困っています。どうしたらよいのでしょうか？

Answer

愛知県刈谷市立朝日中学校 神谷 和宏

●方法1 その子でもできる課題をとにかく見つける

「そったくどうじ啐啄同時」という四字熟語があります。卵の中のヒナが殻を突くことが「啐」、ちょうどそのとき、親鳥が外から卵の殻を突くことが「啄」です。卵の中のヒナが突いているのを親鳥が気付かなかったり、突いていないのに親鳥が殻を破ったりしてもいけないのです。常に同時でなければなりません。授業に置き換えて考えてみると、「生徒が学びたい」という姿勢と「教師が教えたい」という姿勢が一致しなければなりません。授業の内容がわかりたくないと思っている生徒は決していません。わかりたいから授業に参加しているのです。しかし、何らかの理由で学習内容がわからないから机に突っ伏してしまうことを、念頭に置いておくべきです。

以前、久しぶりの登校で授業の内容がまったくわからず机に突っ伏してしまった生徒がいました。このときの授業内容は以下でした。

y は x の2乗に比例しています。 $x=2$ のとき、 $y=12$ です。
このときの、 x と y の関係を式に表しなさい。

私は、机間指導で次のように声をかけました。

「いいかな。しばらくお休みだったから授業の内容があまりわからないかもしれないけれど、今日はできるよ。最初に『 y は x の2乗に比例』すると書いてあるでしょ。だから $y=ax^2$ ととにかく考えるんだ。次に $x=2$ 、 $y=12$ とあるから、この式に代入する。 $12=a \times 2^2$ 、 $12=4a$ だから $a=3$ 、式は $y=3x^2$ となる。2乗に比例する関数というのがどういうものか知らなくても、この問題ならできるよね。次の問題を真似してやっごらん」

するとその生徒なりに一生懸命取り組み始め、教室を一周して戻ってくると、代入までできていました。そこで「やるなあ、数学できるじゃん！」とちょっと大げさにほめました。このように、現状でとにかくできる課題、わかることを見つけて取り組ませてみて、自信をもたせることが重要です。

●方法2 すぐそばで、背を向けて、授業をする

面倒くさがり屋や飽き性の生徒など、教師の視線が必要な生徒がいる場合には、若干の監視が必要です。そのためには、すぐそばで学習することが有効です。黒板の前ばかりに陣取っていないで、できるだけその生徒のそばにいきます。「学習内容を説明するとき」「他の生徒の発表を聞くとき」などその生徒のそばで学級全体に声をかけます。しかし、注意点があります。その生徒には、背を向けていることです。正面を向いていると監視されていると感じ、反発することがあります。しかし、背を向けていると偶然を装うことができます。姑息なテクニックかもしれませんが、結構効果があります。

【参考文献】

・神谷和宏『自己有用感・自尊感情を育てるコーチング・アプローチ』（明治図書）